

平成30年度 総会 抄録

日時：平成30年5月20日（日）10：00～
場所：ユラックス熱海 大会議室

1. 開会の言葉：柴田副会長
2. 会長挨拶：長谷川会長
3. 議長団選出：執行部より任命。
議長 安齋アサ子氏（介護老人保健施設明生苑）
副議長 小木健司氏（南東北春日リハビリテーション病院）
4. 定足数報告：
H30.4 末日現在、正会員総数 888 名（新入会
員を除く）、出席者数 209 名 委任状 510 名
→定款第 30 条、正会員総数の 3 分の 1 を満たし
ているため成立
5. 書記任命：執行部より任命。
本山純子（芦ノ牧温泉病院）：日本
日下部利保（太田西ノ内病院）
6. 議案
第 1 号議案：平成 29 年度事業報告について
事務局・各部・支部・委員会より平成 29 年度にお
ける事業状況を別紙総会資料により詳細に説明報
告。 →承認
第 2 号議案：平成 29 年度収支決算および監査報告
について
財務部長 田口より。収支決算状況を別紙総会資料
により詳細に説明。また岡本監事より監査報告が行
われた。 →承認
第 3 号議案：定款改定について
質疑：五百川氏（福島県立医大）
改正の附則についての日付が 5/30 なのはなぜか？
⇒訂正。5/20 に改正とする。
賛成者 209 名、反対者 0 名、保留者 0 名、委任者
510 名、会員（888 名）の 2/3 の賛成により承認。
第 4 号議案：平成 30 年度事業計画案について
事務局・各部・支部・委員会より別紙総会資料によ
り詳細に説明報告。 →承認

第 5 号議案：平成 30 年度予算案について

財務部長 田口より。予算案を別紙総会資料により詳
細に説明報告。

質疑：五百川氏（福島県立医大）

○今年度も多方面での活動を展開することは理解でき
たが、活動支出を絞っている印象があるが大丈夫か。
⇒基金の利用が出来ているため、費用支出が抑えられ
ている状況。その分事務局機能についてプールしてい
るといったところ。また、今年度の学会は共催となっ
ているので支出は少ない。

○来年度には事務局機能について何らかの提案がある
ようなので期待している。

⇒皆さんの持ち出し部分なども含めて、皆さんの意見
を聞きながら今年度検討していく。

○昨年度不祥事がおきたが、今後未然に防ぐ意味でも
何らかの対策が必要ではないか。倫理委員会の設立な
ど対策はいかがか。

⇒各部の活動や支部でも意識していただいているが、
社会倫理や作業療法倫理などを常に共有していく必要
があると思っている。倫理委員会などに関しては検討
していく。また、理事会で今回の不祥事の処分につ
いて非常に悩みながら検討を行った。医道審議会なども
参考に行っていきたい。

意見：大内氏

○罰することばかり考えるのではなく、我々の職業は
支える職業。いかに支えていくか、教育していくこと
が出来かを検討して行ってほしい。ただ除名するだ
けでなく、除名などの意味なども周知させて、皆に理
解をさせていただきたい。

⇒理事会での協議も同様の内容もあった。すべての面
を考えて向き合っていく必要があると思う。事前にこ
ういったことが起きないように考えることも大切な
ので、ご意見を参考にさせていただき検討していきたい。

→承認

第 6 号議案：平成 30 年度、31 年度役員改選について

立候補者定数内のため無投票当選とする。

→承認

第 7 号議案：その他

意見：大内氏

○国の政策では 70～75 歳の雇用に関して検討されて
いるが、県士会としては働く場の紹介などの活動など
いかがか。

⇒問い合わせなど県士会にも来ているが、現在は（定
年後の職場が）すでに決まっていたりして、進んでい
ないのが現状。今後定年退職の方が増えて、働く場所
について考えている人などが増えていけば、マッチン

グシステムなどシステムの構築を検討したい。現在は市場原理に合わせていく。

○若い人たちが沢山入ってくるので働く場を奪ってもいけないと思う。そういった面でのバランスやシステムなども先手を打って考えていってほしい。

⇒ご意見参考にさせていただく。また、現役の方もいつまでも社会原理に任せるだけでなく、資格やステータスなどの確保を行い、社会にアピールできるように各人意識していただきたい。

7. 議長団解任

8. 閉会の言葉：柴田副会長

—以上—